

大歳じんけんだより



発行 大歳地区人権学習推進協議会
(大歳地域交流センター内)
TEL 922-4035 FAX 922-4036

皆さまには、平素より、人権学習の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

人権は、和から輪へ人と人とが手で繋がり、心で繋がって広い面となって地域をつくるコミュニティーづくりへと進めていくべきだと考えます。全ての人があらゆる場において人としての尊厳が損なわれることなく、他の人の人格をも尊重し、かけがえない命を考え心豊かな地域社会の実現に向けて推進することを目指して今年も邁進していく所存でございます。

今年もよろしくお願い申し上げます。

大歳地区人権学習推進協議会 会長 山本 徳

大歳小学校で人権学習講演会を実施しました！

去る平成28年10月20日(木)、大歳小学校にて「目が見えない人ってどんな人」という演題で溝田成哲(みぞた しげあき)先生に講演して頂きました。講演会に参加した5・6年生の生徒や保護者の感想をご紹介します。

生徒の感想

- ・ 一番心に残ったのは、「人は人により生かされている。」という言葉です。今まで、考えたこともなかったことを考えることができました。
- ・ 「ユニバーサルな心」という言葉がすてきでした。目が見える人も見えない人もみんな受け入れる、温かくて広い心がやっぱり大切なんだなと思いました。
- ・ 目が見えない人がこんなに大変だとは思いませんでした。点字ブロックや盲導犬がいるのは知っていたけれど、それでも大変なことが多すぎます。便利な音声パソコンがあることを初めて知りました。
- ・ 自分が社会の中で人の役に立つこともあり、「支えて支えられている。」という話が心に残りました。



保護者の感想

- ・ 人と人をつないでユニバーサルな社会を発展させていくことは大切なことだと感じました。やはり、人を助けられるのは人の心だと改めて思いました。
- ・ 色々な苦勞をされている視覚障がい者の方の話なので、一言一言に重みを感じました。これから、障がいのある方にお会いしたら、正面から勇気を出して声をかけたいです。
- ・ 今日話を聴いて、困っている人を見かけたら、すっとさりげなく手助けできる人に少しはなれるのではないかと思います。

裏面に続く



- 子どもたちが講師の方からの質問に対し、最初から大きな声で返事をしていてとても好感がもてました。子どもたちの心に響いた講演だったと感じました。
- 優しい言葉遣いは、とても大切です。私も実践したいと思います。

障がいのあるなしに関わらず、誰もが幸せに生きることができる社会を築くために、できることから始めていこうと考えるきっかけをいただいた講演会でした。

鴻南中学校で人権学習講演会を実施しました！

去る平成28年11月12日（土）、鴻南中学校にて保護者や地域の方々を交え、人権にかかわる授業と講演会を行いました。今年度は、「人権感覚をみがき、人権を互いに尊重し合う」をテーマに学習を展開しました。

1 各学年の公開授業

- (1) 1年道徳：心臓病で14歳で亡くなった女子中学生が母に残した手紙を通して、家庭の深い愛情に守られて今日があることや、命の大切さについて考えました。
- (2) 2年道徳：さだまさしの「いのちの理由」という曲を視聴し、歌詞や映像に出てくる人たちの表情を通して、命の大切さや生きることの素晴らしさについて考えました。
- (3) 3年道徳：ドナーカードにまつわる話を読んだり、視聴したりして、生命を大切にするの意味を多面的に理解し、自他の命の尊さについて考えました。
- (4) 特別支援ABC組道徳：自分が生まれた時の親や周囲の人の思いを知ることを通して、自分や人を大切にすることや命の大切さについて考えました。

2 教育講演会

山口大学医学部附属病院看護師の廣井由佳さんに、「命に寄り添う日々を振り返って」という演題で御講演いただきました。看護師として触れ合われた、様々な命についてのお話に、じっくりと耳を傾けることができました。一つひとつの命のストーリーが生徒たちの心に響きました。講演をきっかけに、自分の命や周りの人の命の尊さについて更に深く考えることができました。



生徒の感想

たくさんの亡くなっていく命や生まれてくる命があるということ、命の尊さがわかりました。人の命に関わっていく仕事って素晴らしくて、いろんな経験、悲しいこと、つらいこと、人の命を預かる責任。私には難しいなと思いました。多くの人が今を一生懸命に生きていて、生きたいと思っている。急に病気になった人、生まれた時から生きていくのが大変な状況にある人。そういう人たちが今、この瞬間を一生懸命に生きようとしていることを考えると、私は今、この瞬間を一生懸命に生きているかと考えさせられます。～中略～生きてくても生きられなかった人がいるということ、私が今生きているのは産んでくれたお母さん、たくさんの人の支えがあることを忘れないようにしたいです。たくさんの人と関わりながら今を、一日一日を大切に生きたいです。

